

Smart café in 医学部

～キャリアアップ座談会～

報告書

Smart Café in 医学部
～キャリアアップ座談会～

第一線で活躍する女性医師のお話を聞きながら、みんなでキャリアパスやワーク・ライフ・バランスについて考えてみませんか？今回は眼科のお話です。

2019年9月30日(月) 18:00-19:00
場所：富山大学杉谷キャンパス 附属病院 2階 臨床講義室1
対象：学生（学部生・大学院生）、医師（研修医含む）、大学関係者等

【プログラム】 総合司会 米田 徳子先生（富山大学附属病院女性医師支援室長・富山大学産科婦人科学助教）
18:00 開会挨拶 村上 美也子先生（富山県医師会副会長）
18:05 ペアトーク 林 篤志先生（富山大学附属病院院長・眼科学教授）
上田 朋子先生（富山大学 眼科学診療講師）
演題「眼科女医のほんとうの姿とは」
18:25 講演 座長：林 篤志先生（富山大学附属病院院長・眼科学教授）
演者：高 静花先生（大阪大学 視覚先端医学寄附講座准教授）
演題「まあるく、きらりと、私らしく～産後子育てと眼科経験のある眼科医より～」
18:50 質疑応答 & 座談会
閉会挨拶 川口 善治先生（富山県医師会・男女共同参画担当）
*コーヒー、軽食つき *富山県医師会女性医師等支援相談窓口配布
*託児サービスあります。希望者はお電話でお申込みください。

主催：富山大学男女共同参画推進室、富山大学附属病院女性医師支援室、富山県医師会
共催：日本医師会、富山大学医師会
【お問合せ】 富山大学男女共同参画推進室 Tel: 076-445-6083

開催日：2019年9月30日（月）18：00～19：00
場 所：富山大学 臨床講義室1
参加者：58名(男27名、女31名)
（内訳：研修医0、医師29、学生22、その他7人）
託児利用者：0名

総合司会：富山大学産婦人科 米田 徳子 先生



開会挨拶：富山県医師会副会長 村上美也子先生

ペアトーク：富山大学附属病院院長・眼科学教授 林 篤志 先生
富山大学眼科学診療講師 上田朋子 先生
演題：「眼科女医のほんとうの姿とは」



【林病院長】

女性医師の割合…富山大学眼科 38%が女性医師

臨床研修医制度により、一時は医師数が減少したが、現在回復してきている。

【上田先生】

出産して3か月で復帰。10：00～15：00 週1～3回出勤した。この間、育児だけに追われるのではなく、自分自身の時間が取れ幸せな時間だったと思う。産後1年後フルタイムとして復帰した。

なぜ、眼科医を選択したか…小学校の夢で医者になりたい。臨床で色々な科を回ったが、きれいな手術にあこがれて眼科を選択した。

診療科選びに悩んだら…自分のやりたいことを選ぶ。悩んだときはハッピーな環境を選ぶ。困ったとき同僚、先輩が必ず手伝ってくれる。

大学教員として働く中で、大学＝家族であり喜びは、①富山大学眼科医局員であること、②学生さん達とのかかわり、③いろいろなセミナーへの参加できること。

要望したいこと…ウェブカンファのように自宅で聴講できる講演が増えてほしい。現在、金沢に家族で住んでいるため、大学内で惣菜が購入できると少しでも早く家に帰宅できる。夫はアメリカ人のため家族の時間を大切に作る人でもあり、家族との時間を少しでも多くもてるようにしたい。

座長：富山大学附属病院長・眼科学教授 林 篤志 先生

演題：「まあるく、きらりと、私らしく～親連れ子連れ留学経験のある眼科医より～」

講師：大阪大学大学院視覚先端医学寄附講座准教授 高 静花 先生

- ・1999年大阪大学医学部卒業、眼科入局
- ・2000年結婚、2003年出産
- ・2007年米国ロチェスター大学眼科留学
- ・家族構成：夫（6歳年上 市内病院眼科部長）、息子：高1
- ・学生のころから留学希望が強く、休みのたびにヨーロッパを主にバックパッカーの一人旅をしていた。
- ・先輩眼科医から「4種の神器」…専門医、学位（大学院）、留学、結婚（夫）と聞いていた。
- ・一般的に既婚の場合、女性主体の留学はほとんど聞いたことがなく、「主夫」はありえないらしい。
- ・息子を出産し、産休のみで復帰、仕事と育児に大忙しな日々から大学院へ進学し、そこでよき指導者に恵まれ、興味ある研究テーマに出会い、様々な研究者たちとの出会いがハッピー研究生生活をしたい、留学をしたいとの思いが膨れた。
- ・女性が主体の留学について検討し、最終的に子供を連れて、祖母に来てもらうという親連れ子連れ留学となった。海外では、このようなケースも珍しくなく諸外国の女性はもっと積極的である。また、アメリカでは働く女性の環境が良い（保育園充実、子供にやさしい）。旦那とは離れてもSNSやスカイプ等で日本の単身赴任と大して変わらないということが分かった。
- ・留学で得られること…良い研究することによって研究、論文執筆を楽しめる。人脈が広がる。外国文化を知る、体験することにより国内外の出張が楽しくなる。これにより、たくましくなり適応性がますます強くなる。より良いQOV (Quality of Vision) & QOL (Quality of Life) を目指して、常にアンテナを広くはり、直感を大切にしてほしい。

富山大学女性医師支援室メンバー紹介

閉会挨拶：富山県医師会理事 川口善治先生



【上田先生】



【林病院長】



【高先生】

